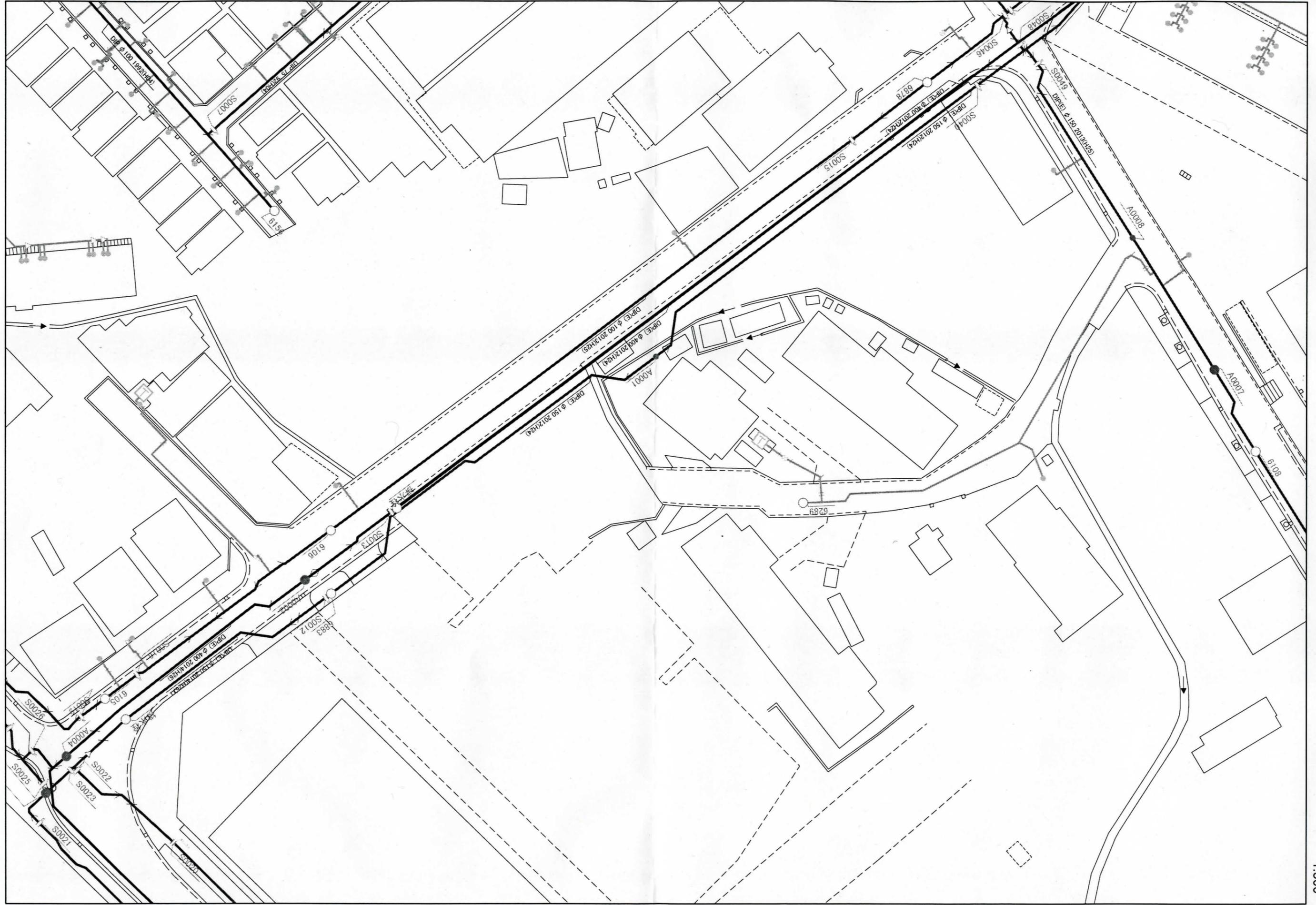


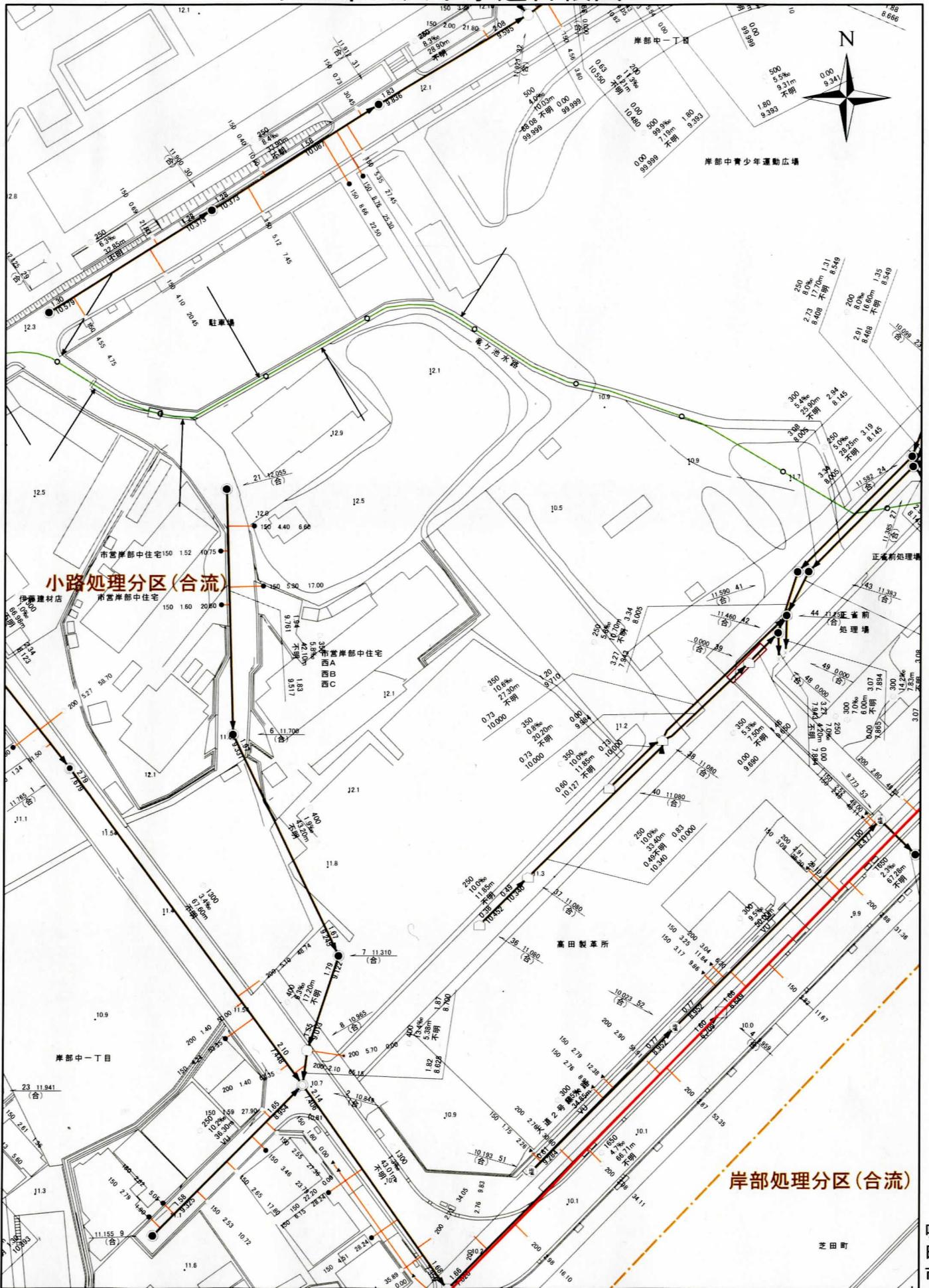
【添付資料09】事業用地・上水道整備状況図

本図面の複写、複製、目的以外に使用することを禁止します。本図面は配水管等の有無、口径等の情報を保証するものではありません。



1:500

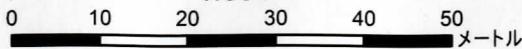
# 吹田市公共下水道台帳図



吹田市

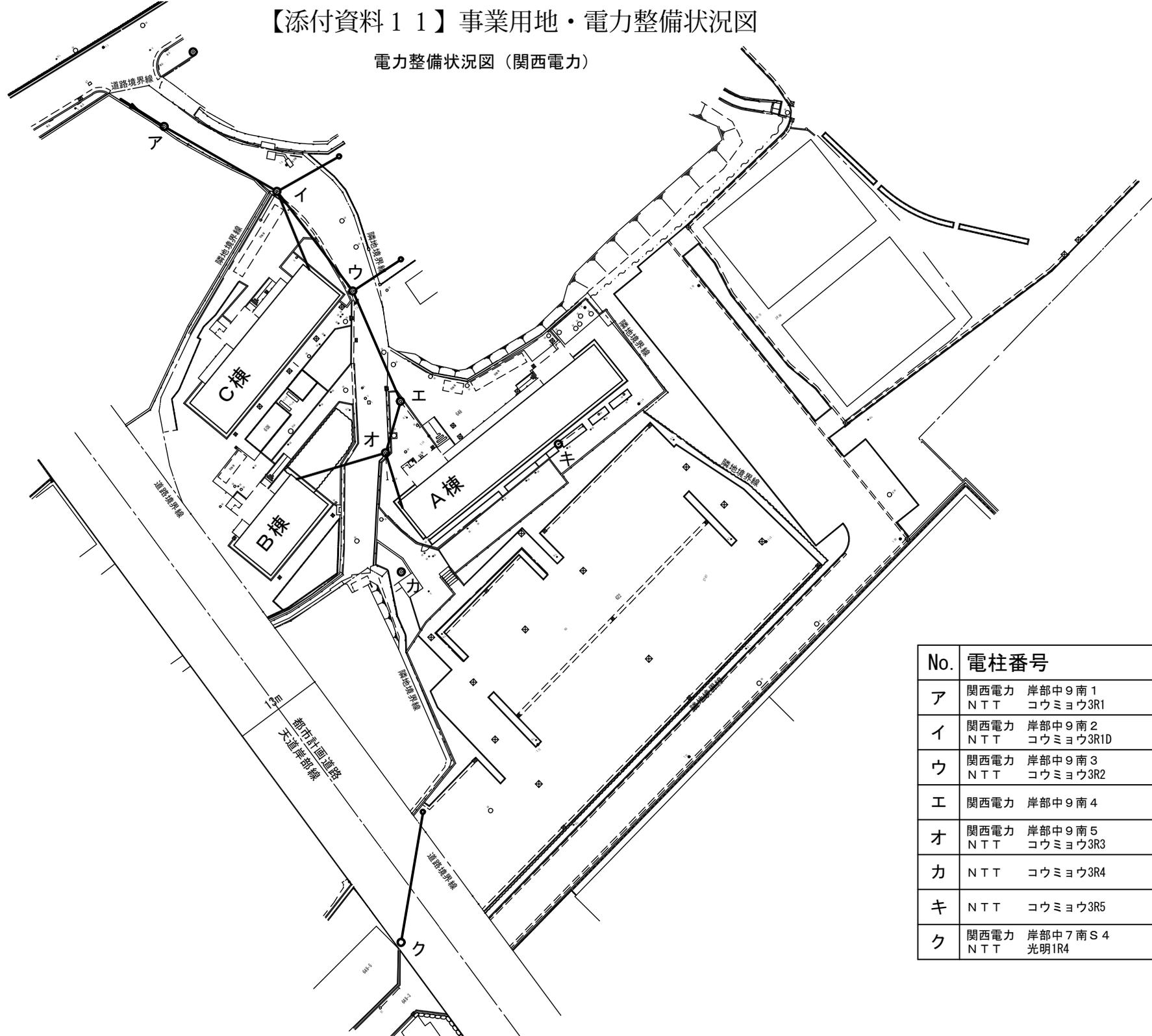
この図面は参考図であり、内容を証明するものではありません。また、この図面は原本を複写しており、図面上に拡大縮小の誤差を生じている可能性がありますので、現地を確認し、不明な点がある場合にはお問い合わせください。

1:864



# 【添付資料 1 1】 事業用地・電力整備状況図

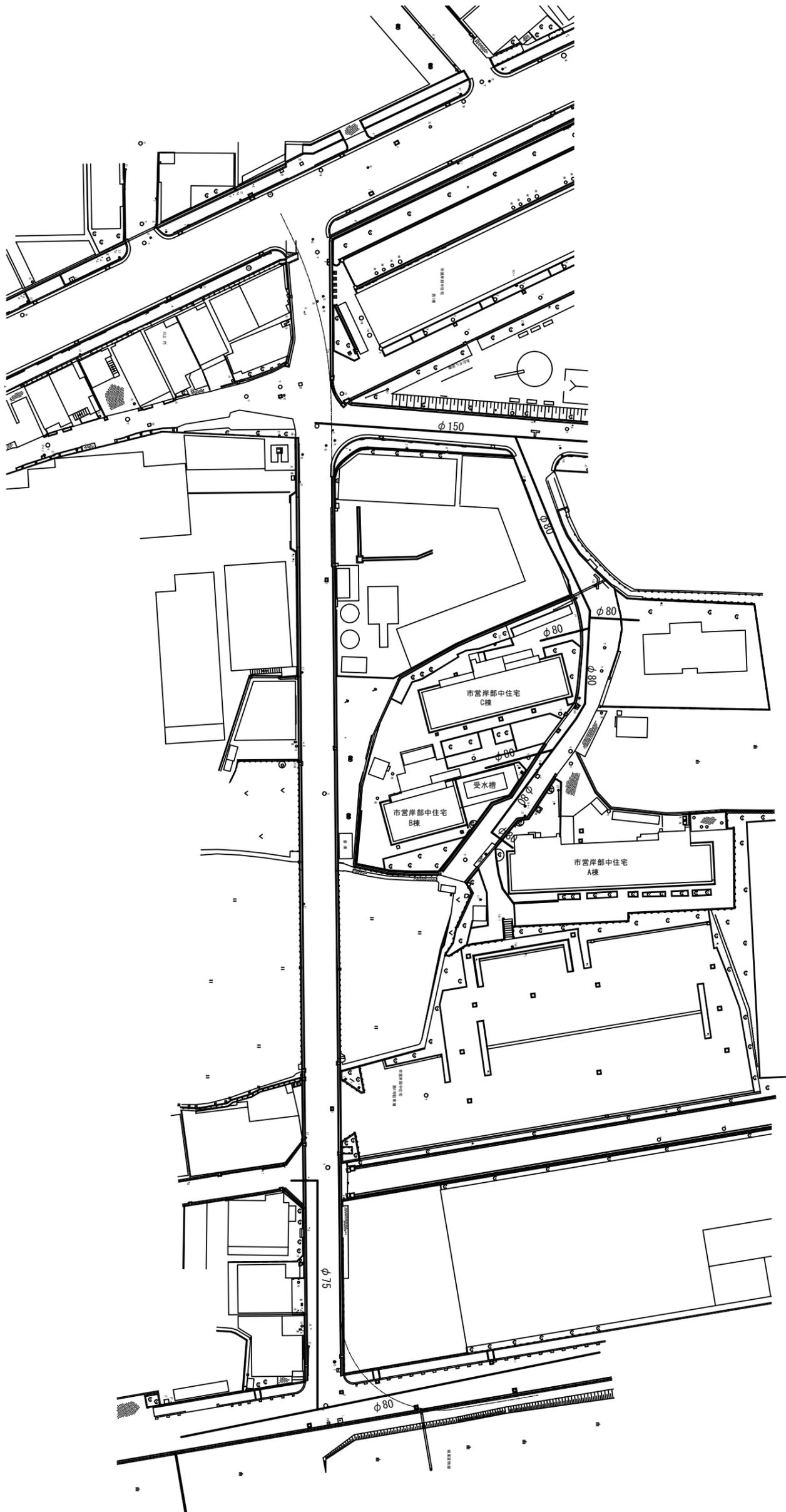
電力整備状況図（関西電力）



No.	電柱番号
ア	関西電力 岸部中9南1 NTT コウミョウ3R1
イ	関西電力 岸部中9南2 NTT コウミョウ3R1D
ウ	関西電力 岸部中9南3 NTT コウミョウ3R2
エ	関西電力 岸部中9南4
オ	関西電力 岸部中9南5 NTT コウミョウ3R3
カ	NTT コウミョウ3R4
キ	NTT コウミョウ3R5
ク	関西電力 岸部中7南S4 NTT 光明1R4

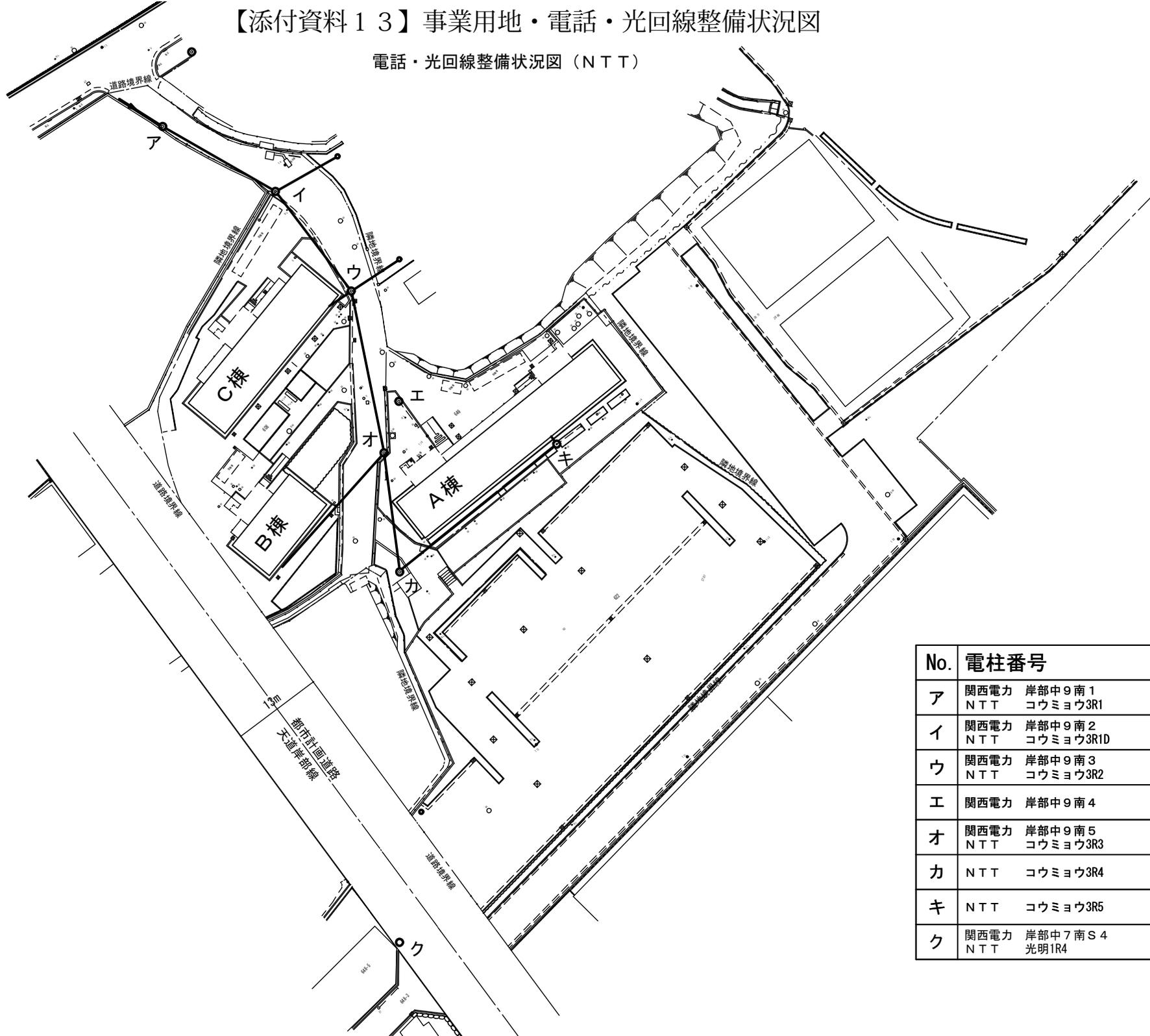
【添付資料12】事業用地・大阪瓦斯都市ガス整備状況図

都市ガス整備状況図（大阪ガス）



# 【添付資料 1 3】 事業用地・電話・光回線整備状況図

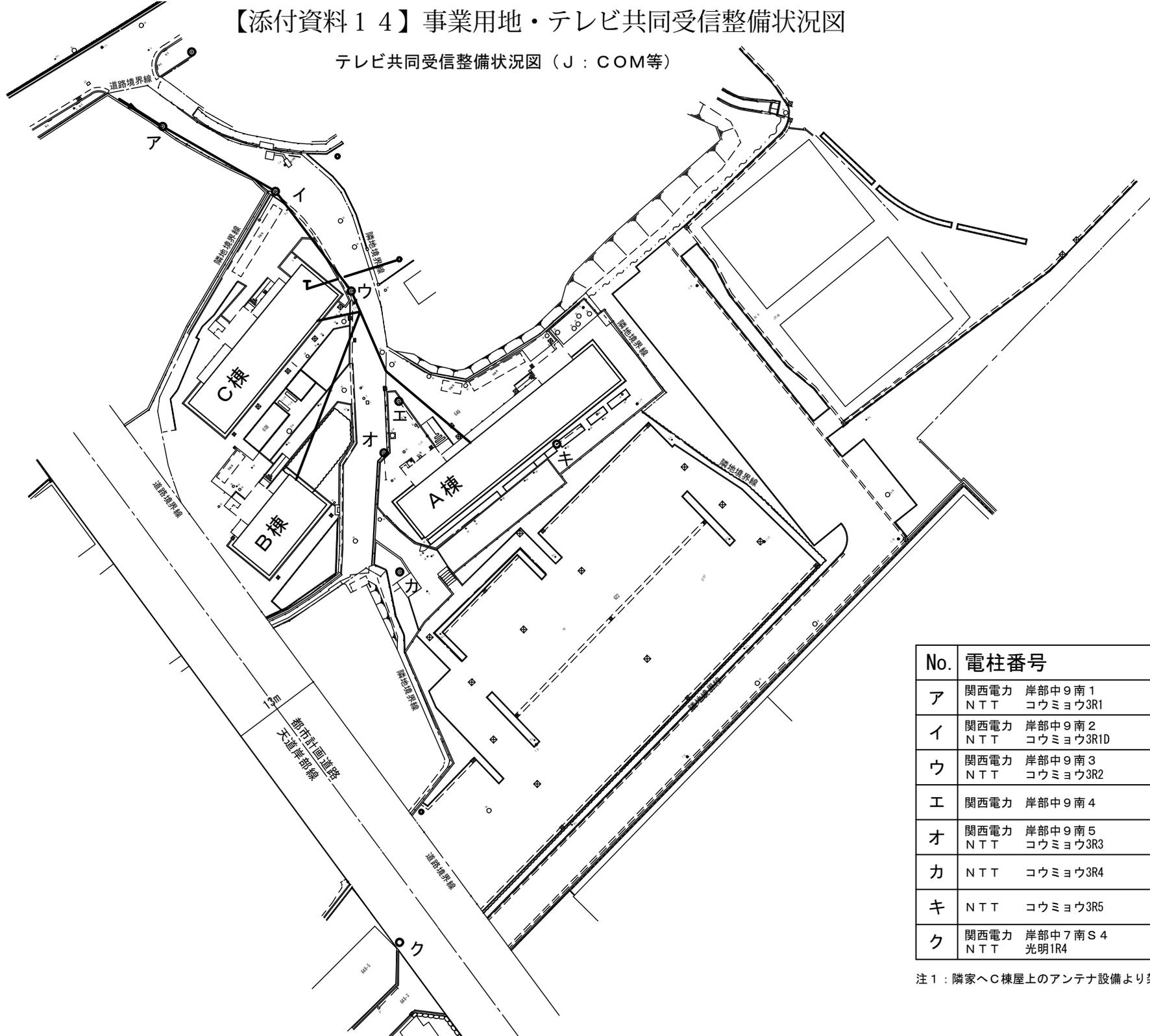
電話・光回線整備状況図 (NTT)



No.	電柱番号
ア	関西電力 岸部中9南1 NTT コウミョウ3R1
イ	関西電力 岸部中9南2 NTT コウミョウ3R1D
ウ	関西電力 岸部中9南3 NTT コウミョウ3R2
エ	関西電力 岸部中9南4
オ	関西電力 岸部中9南5 NTT コウミョウ3R3
カ	NTT コウミョウ3R4
キ	NTT コウミョウ3R5
ク	関西電力 岸部中7南S4 NTT 光明1R4

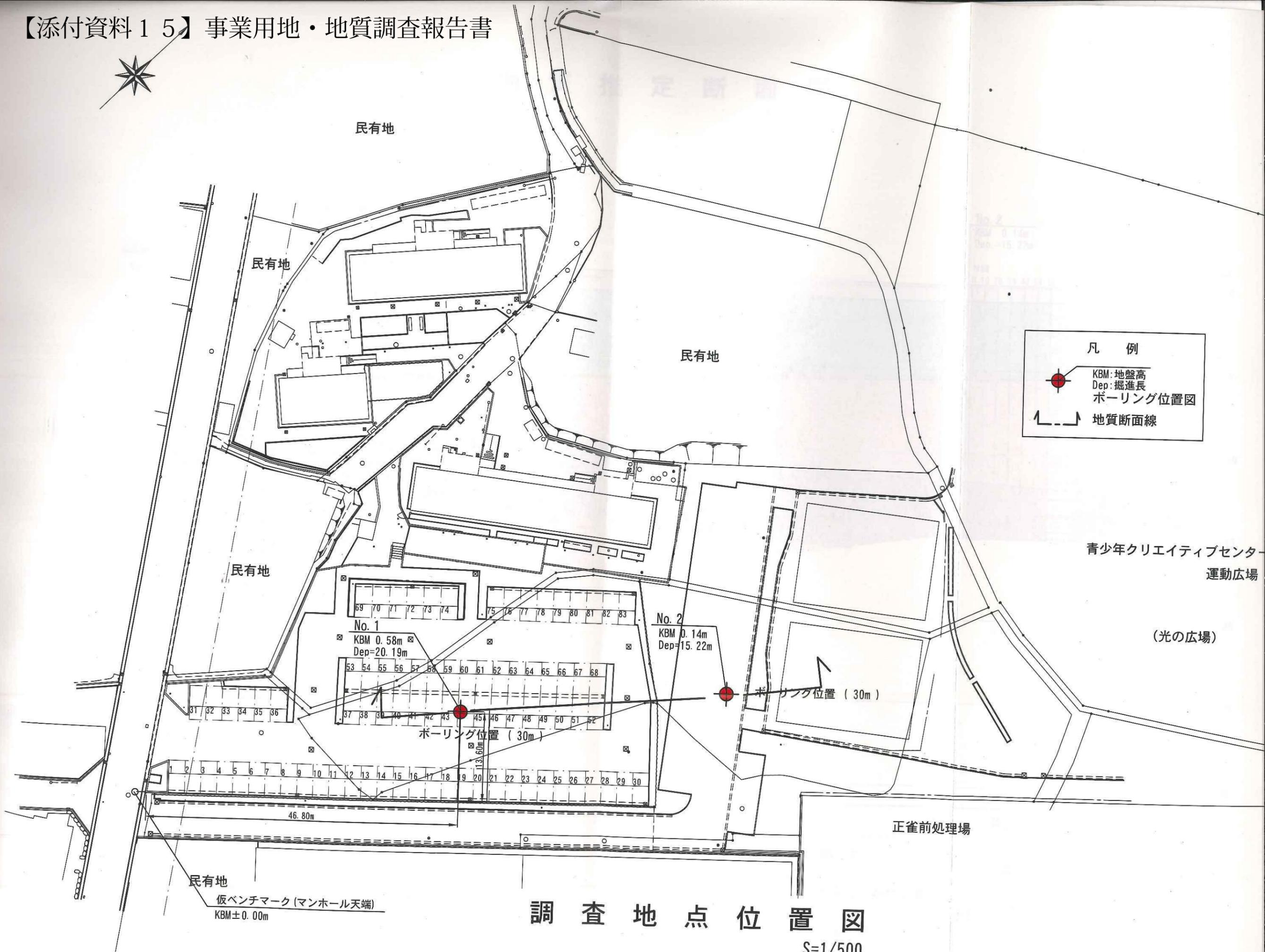
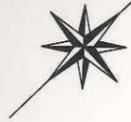
# 【添付資料 1 4】事業用地・テレビ共同受信整備状況図

テレビ共同受信整備状況図（J：COM等）



No.	電柱番号
ア	関西電力 岸部中9南1 NTT コウミョウ3R1
イ	関西電力 岸部中9南2 NTT コウミョウ3R1D
ウ	関西電力 岸部中9南3 NTT コウミョウ3R2
エ	関西電力 岸部中9南4
オ	関西電力 岸部中9南5 NTT コウミョウ3R3
カ	NTT コウミョウ3R4
キ	NTT コウミョウ3R5
ク	関西電力 岸部中7南S4 NTT 光明1R4

注1：隣家へC棟屋上のアンテナ設備より架空線で電波供給



凡 例

- KBM: 地盤高  
Dep: 掘進長  
ボーリング位置図
- 地質断面線

No. 1  
KBM 0.58m  
Dep=20.19m

69	70	71	72	73	74										
53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52

No. 2  
KBM 0.14m  
Dep=15.22m

民有地  
仮ベンチマーク (マンホール天端)  
KBM ± 0.00m

調査地点位置図

S=1/500

# ボーリング柱状図

調査名 岸部中住宅建て替え1期工事に伴う地質調査

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	大阪府吹田市岸部中1丁目44-3			北緯	° ' "					
発注機関		調査期間	平成24年2月6日～平成24年2月7日			東経	° ' "					
調査業者名	株式会社東建ジオテック 072-265-2651	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	藤吉彦	ボーリング責任者	利国 茂				
孔口標高	KBM 0.58m	角	180° 上 0° 下	90° 方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平	使用機種	試錐機	カノー KR-100	ハンマー 落下用具	カノー V-6
総掘進長	20.19m	度						エンジン	ヤンマー NF80H	ポンプ	カノー V-6	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対密稠度	相対稠度	相対密稠度	相対密稠度	相対密稠度	標準貫入試験			原位置試験		試料採取		室内試験	掘進月日		
														深	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深	試験名 および結果	深			試料 番号	採取 方法
1	-0.72	1.30	1.30		盛土	灰								1.15	1	2	5							
2	-1.92	1.20	2.50		砂質粘土	灰	中位							1.45	2	2	3							
3							硬い							2.15	2	2	3							
4	-4.02	2.10	4.60		砂質シルト	淡茶灰	中位							2.45	3	4	4							
5	-4.72	0.70	5.30		礫混り粗中砂	淡灰	中位							3.15	3	4	4							
6	-5.32	0.60	5.90		砂質シルト	灰	中位							3.45	2	2	2							
7	-5.62	0.30	6.20		砂混りシルト	茶褐	中位							4.15	2	2	2							
8	-6.32	0.70	6.90		シルト質細砂	茶褐	中位							4.45	4	2	1							
9	-7.22	0.90	7.80		礫混り粗中砂	淡茶灰	非常に密な							5.15	4	2	1							
10	-8.72	1.50	9.30		細中砂	淡茶灰	非常に密な							5.45	2	3	5							
11														6.15	2	3	5							
12														6.45	49	11	2							
13	-12.82	4.10	13.40											7.15	19	33	8							
14														7.27	8	15	2							
15														8.15	30	30	6							
16														8.37	55	5	1							
17	-16.42	3.60	17.00											9.15	58	2	0							
18														9.31	31	29	6							
19														10.15	18	26	16							
20	-19.61	3.19	20.19											10.26	34	26	7							
														11.15	60	4								
														11.25	60	9								
														12.15	60	9								
														12.31	60	6								
														13.15	60	6								
														13.39	60	4								
														14.15	60	4								
														14.32	60	9								
														15.15	60	4								
														15.19	60	4								
														16.15	60	9								
														16.24	60	9								
														17.15	60	6								
														17.21	60	6								
														18.15	60	5								
														18.20	60	5								
														19.15	55	5	1							
														19.26	60	4								
														20.15	60	4								
														20.19	60	4								

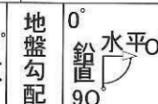
# ボーリング柱状図

調査名 岸部中住宅建て替え1期工事に伴う地質調査

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No.2	調査位置	大阪府吹田市岸部中1丁目44-3			北緯	° ' "
発注機関		調査期間	平成24年2月8日～年月日			東経	° ' "
調査業者名	株式会社東建ジオテック 072-265-2651	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	藤吉彦	ボーリング責任者	利国茂
孔口標高	KBM 0.14m	角			使用機種	試錐機	カノー KR-100
総掘進長	15.22m	度			エンジン	ハンマー落下用具	自動落下
						ポンプ	カノー V-6

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室内試験 (掘進) 月日	
											深 (m)	10cmごとの打撃回数			N 値	深 (m)	試験名および結果	深 (m)		試料採取番号
												0	10	20						
									0.05mまでアスファルト。以下シルト混じり砂。											
1	-0.86	1.00	1.00		盛土	暗灰		中位	細砂を多量に混入。											
2	-1.66	0.80	1.80		砂質粘土	淡茶灰		緩い	全体に砂混入。											
	-2.46	0.80	2.60		シルト混り細砂	灰			シルト分を多量に混入。											
3	-3.06	0.60	3.20		砂質粘土	灰		中位	シルト分を混入。											
	-3.26	0.20	3.40		シルト混り細砂	灰			全体にシルト分混入。含水量はやや多い。											
4								緩い												
5								中位												
	-5.56	2.30	5.70		シルト質細砂	灰														
6	-6.26	0.70	6.40		細砂	赤茶		非常に密な	粒径均質。含水量は中位。											
7									φ2~30mmの礫混入。最大礫径は50mm。砂は粗中砂。上部、含水量は少ないが、10m付近からやや多くなる。											
8																				
9																				
10																				
11																				
	-11.66	5.40	11.80		礫混り砂	淡灰		非常に密な	φ10~40mmの円礫混入。基質は粗中砂。含水量は多い。											
12									13.7mから循環泥水が若干漏水する。											
13																				
14																				
15	-15.08	3.42	15.22		砂礫	赤茶		非常に密な												

表-1.1 調査実施数量表

調査項目		実施数量
表層部土壌調査		
1	土壌ガス調査	
	土壌ガス採取	3 地点
	土壌ガス分析 第一種特定有害物質の分析 (注1)	3 検体
2	表層部土壌調査	
	試料採取	15 地点
	第二種特定有害物質の分析 (注2) (土壌溶出量・土壌含有量) 第三種特定有害物質の分析 (注3) (土壌溶出量)	3 検体 (複数地点均等混合法)

- (注1) 第一種特定有害物質の分析項目は、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、ベンゼンの11物質である。
- (注2) 第二種特定有害物質の分析項目は、カドミウム及びその化合物、六価クロム化合物、シアン化合物、水銀及びその化合物、アルキル水銀、セレン及びその化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物の10物質であり、それぞれの土壌溶出量と土壌含有量を求める。
- (注3) 第三種特定有害物質の分析項目は、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ポリ塩化ビフェニル、有機リン化合物の5項目であり、それぞれの土壌溶出量を求める。



2012年7月25日採取

]

《溶出試験》

分析項目 \ 試料名		A-5	B-5	C-5
カドミウム及びその化合物	(mg/L)	0.001未満	0.001未満	0.001未満
シアン化合物	(mg/L)	不検出	不検出	不検出
鉛及びその化合物	(mg/L)	0.001未満	0.001未満	0.001未満
六価クロム化合物	(mg/L)	0.005未満	0.005	0.005未満
砒素及びその化合物	(mg/L)	0.003	0.008	0.008
水銀及びその化合物	(mg/L)	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
アルキル水銀化合物	(mg/L)	不検出	不検出	不検出
セレン及びその化合物	(mg/L)	0.001	0.001	0.001未満
ふっ素及びその化合物	(mg/L)	0.33	0.16	0.28
ほう素及びその化合物	(mg/L)	0.1未満	0.1未満	0.1未満
シマジン	(mg/L)	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
チオベンカルブ	(mg/L)	0.002未満	0.002未満	0.002未満
チウラム	(mg/L)	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
ポリ塩化ビフェニル	(mg/L)	不検出	不検出	不検出
有機燐化合物	(mg/L)	不検出	不検出	不検出

分析の結果が「〇〇未満」の場合の〇〇は、定量下限値を示す。

「不検出」とは定量下限値未満を示す。

(シアン化合物: 定量下限値 0.1mg/L、アルキル水銀化合物: 定量下限値 0.0005mg/L)

(ポリ塩化ビフェニル: 定量下限値 0.0005mg/L、有機燐化合物: 0.04mg/L)

《含有試験》

分析項目 \ 試料名		A-5	B-5	C-5
カドミウム及びその化合物	(mg/kg)	5未満	5未満	5未満
シアン化合物	(mg/kg)	1未満	1未満	1未満
鉛及びその化合物	(mg/kg)	26	19	15
六価クロム化合物	(mg/kg)	5未満	5未満	5未満
砒素及びその化合物	(mg/kg)	10未満	10未満	10未満
水銀及びその化合物	(mg/kg)	1未満	1未満	1未満
セレン及びその化合物	(mg/kg)	10未満	10未満	10未満
ふっ素及びその化合物	(mg/kg)	72	93	58
ほう素及びその化合物	(mg/kg)	10未満	10未満	10未満

分析の結果が「〇〇未満」の場合の〇〇は、定量下限値を示す。

# 分析結果報告書

2012年7月31日

様

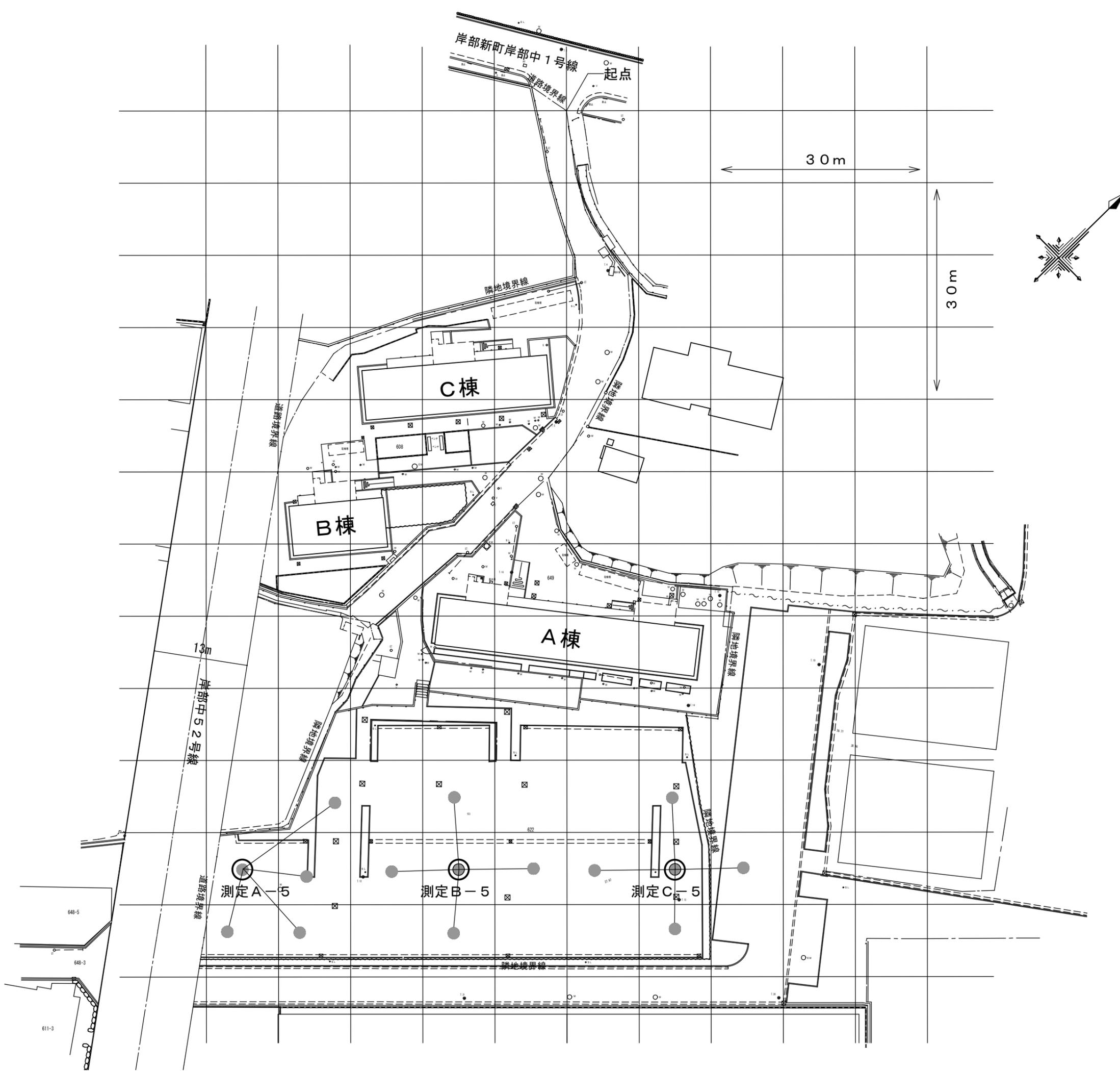
貴、ご依頼の試料についての  
分析結果をご報告申し上げます。

- (採取年月日) 2012年7月25日
- (受付方法) 採取
- (件名) 吹田市岸部中住宅建替工事(一期工事)実施設計業務
- (採取場所) 吹田市岸部中1丁目622他
- (分析方法)
- |                 |   |                |
|-----------------|---|----------------|
| ジクロロメタン         | : | 平成15年環境省告示第16号 |
| 四塩化炭素           | : | 平成15年環境省告示第16号 |
| 1,2-ジクロロエタン     | : | 平成15年環境省告示第16号 |
| 1,1-ジクロロエチレン    | : | 平成15年環境省告示第16号 |
| シス-1,2-ジクロロエチレン | : | 平成15年環境省告示第16号 |
| 1,1,1-トリクロロエタン  | : | 平成15年環境省告示第16号 |
| 1,1,2-トリクロロエタン  | : | 平成15年環境省告示第16号 |
| トリクロロエチレン       | : | 平成15年環境省告示第16号 |
| テトラクロロエチレン      | : | 平成15年環境省告示第16号 |
| 1,3-ジクロロプロペン    | : | 平成15年環境省告示第16号 |
| ベンゼン            | : | 平成15年環境省告示第16号 |

(分析結果)

分析項目		試料名		
		A-5-⑤	B-5-⑤	C-5-⑤
ジクロロメタン	(volppm)	不検出	不検出	不検出
四塩化炭素	(volppm)	不検出	不検出	不検出
1,2-ジクロロエタン	(volppm)	不検出	不検出	不検出
1,1-ジクロロエチレン	(volppm)	不検出	不検出	不検出
シス-1,2-ジクロロエチレン	(volppm)	不検出	不検出	不検出
1,1,1-トリクロロエタン	(volppm)	不検出	不検出	不検出
1,1,2-トリクロロエタン	(volppm)	不検出	不検出	不検出
トリクロロエチレン	(volppm)	不検出	不検出	不検出
テトラクロロエチレン	(volppm)	不検出	不検出	不検出
1,3-ジクロロプロペン	(volppm)	不検出	不検出	不検出
ベンゼン	(volppm)	不検出	不検出	不検出

不検出とは定量下限値未満を示す。  
(ベンゼン:0.05volppm未満, ベンゼン以外:0.1 volppm未満)



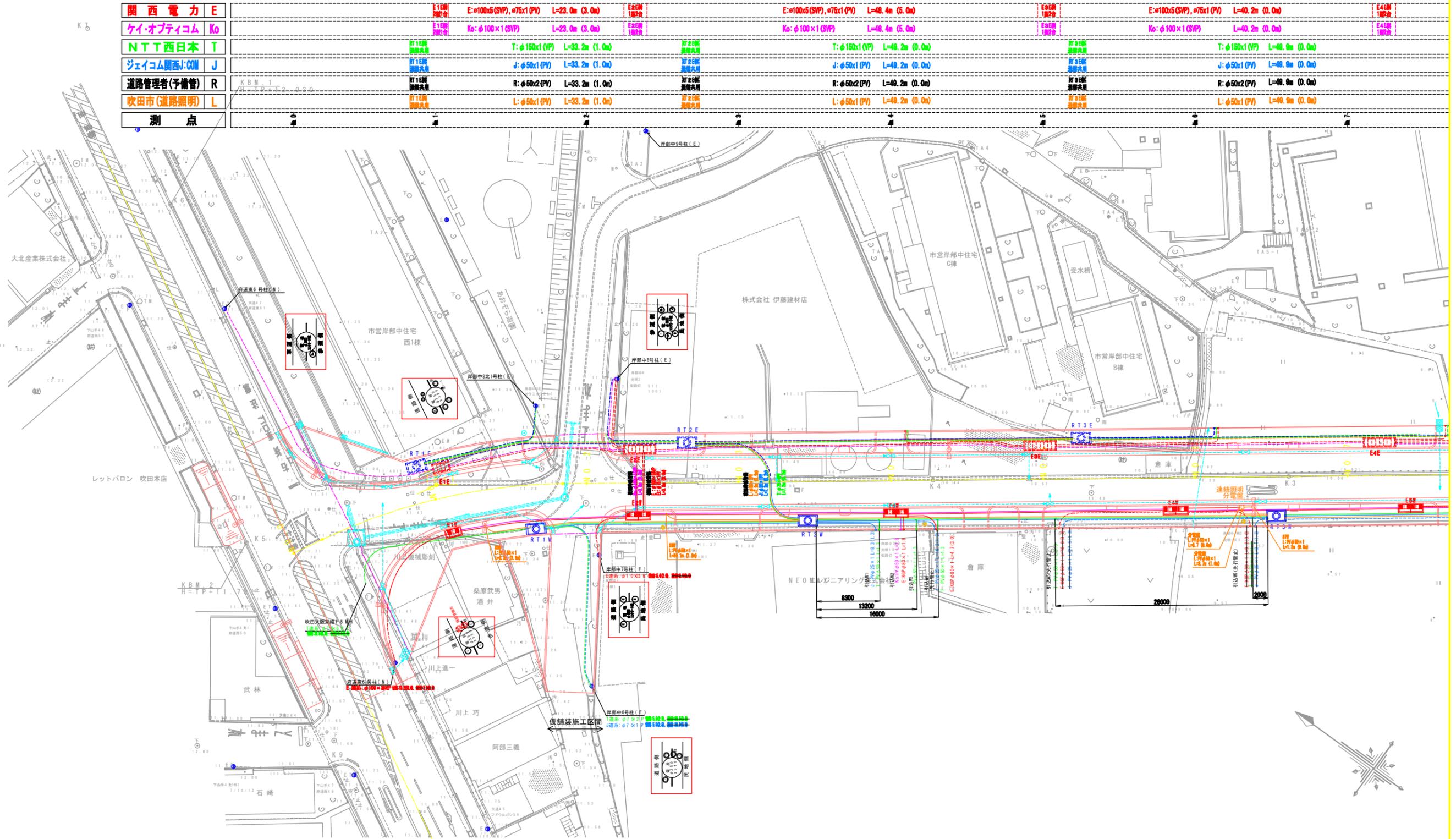
凡例

- 10m格子
- 土壌採取地点
- 土壌ガス採取地点

調査地点図 (試料採取地点)

# 【添付資料 1 7】 都市計画道路平面図横断図

## 計画平面図 (1) s = 1 : 250



(変更前)

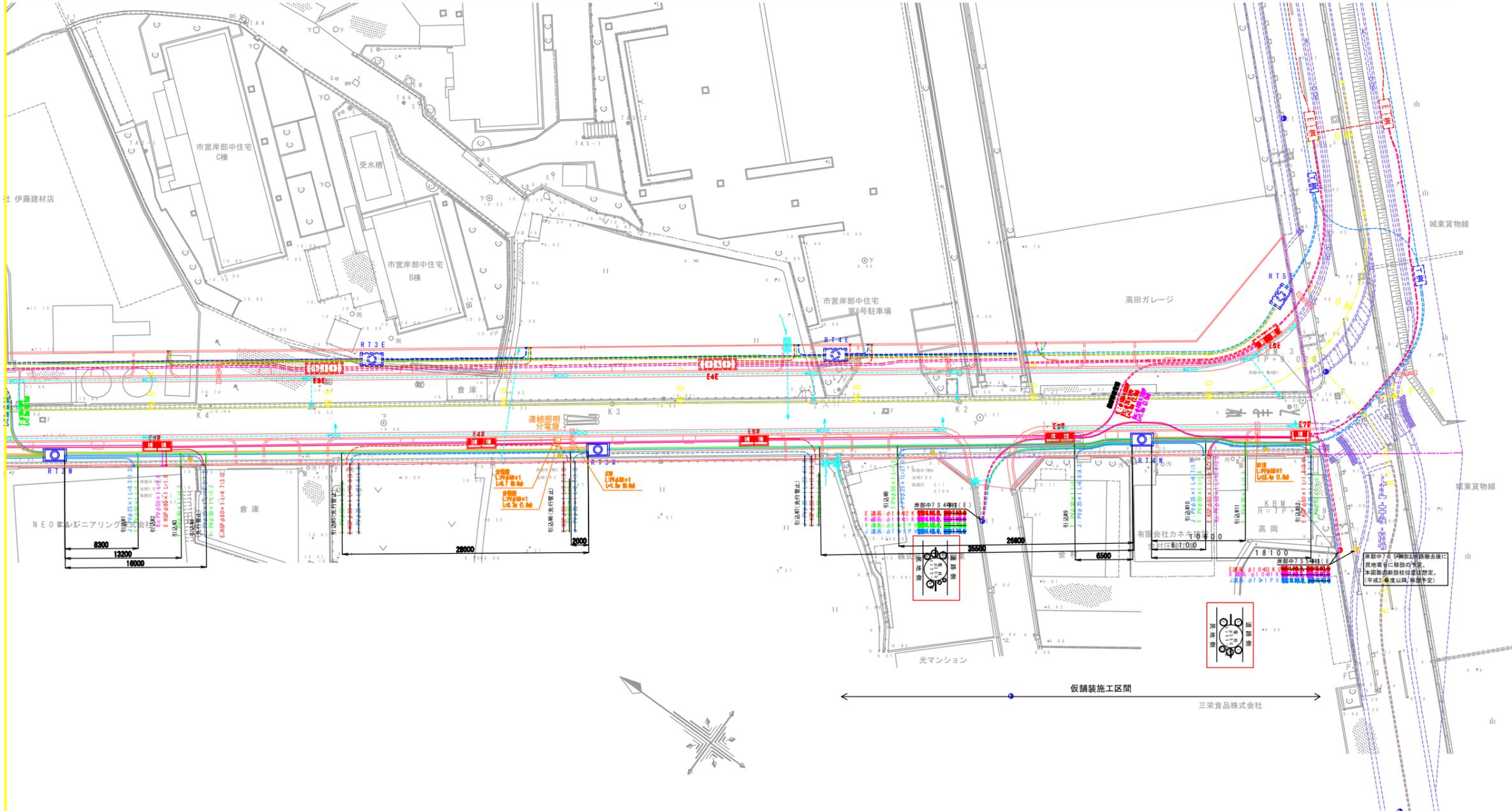
工事名	天道岸部線電線共同溝整備工事 (その2)		
路線名	都市計画道路天道岸部線		
所在地名	吹田市岸部中一丁目地内		
図面名	計画平面図 (1)		
年月日	平成2年4月		
縮尺	A 1 1/4	図面番号	1 / 14
事業者名	吹田市 都市整備部 吹田操車場跡地まちづくり室		

関西電力 E	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=21.8m (2.0m)	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=30.8m (0.0m)	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=33.7m (0.0m)	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=27.7m (0.0m)
ケイ・オプティコム Ko	Ko: φ100×1 (SVP) L=21.8m (2.0m)	Ko: φ100×1 (SVP) L=30.8m (0.0m)	Ko: φ100×1 (SVP) L=33.7m (0.0m)	Ko: φ100×1 (SVP) L=27.7m (0.0m)
NTT西日本 T	T: φ150x1 (VP) + φ75x2 (PV) L=33.4m (2.0m)	T: φ150x1 (VP) L=59.3m (0.0m)	T: φ150x1 (VP) L=59.3m (0.0m)	T: φ150x1 (VP) L=59.3m (0.0m)
ジェイコム関西J-COM J	J: φ50x1 (PV) L=33.4m (2.0m)	J: φ50x1 (PV) L=59.3m (0.0m)	J: φ50x1 (PV) L=59.3m (0.0m)	J: φ50x1 (PV) L=59.3m (0.0m)
道路管理者(予備管) R	R: φ50x2 (PV) L=33.4m (2.0m)	R: φ50x2 (PV) L=59.3m (0.0m)	R: φ50x2 (PV) L=59.3m (0.0m)	R: φ50x2 (PV) L=59.3m (0.0m)
吹田市(道路照明) L	L: φ50x1 (PV) L=33.4m (2.0m)	L: φ50x1 (PV) L=59.3m (0.0m)	L: φ50x1 (PV) L=59.3m (0.0m)	L: φ50x1 (PV) L=59.3m (0.0m)
測点				

# 計画平面図 (2) S=1:250

※( )内は斜めから距離範囲までの長さ

E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=48.4m (5.0m)	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=40.2m (0.0m)	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=61.1m (8.0m)	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=2.7m (0.0m)
Ko: φ100×1 (SVP) L=48.4m (5.0m)	Ko: φ100×1 (SVP) L=40.2m (0.0m)	Ko: φ100×1 (SVP) L=61.1m (8.0m)	Ko: φ100×1 (SVP) L=2.7m (0.0m)
T: φ150x1 (VP) L=49.2m (0.0m)	T: φ150x1 (VP) L=49.9m (0.0m)	T: φ150x1 (VP) L=51.1m (8.0m)	T: φ150x1 (VP) L=0.0m (0.0m)
J: φ50x1 (PV) L=49.2m (0.0m)	J: φ50x1 (PV) L=49.9m (0.0m)	J: φ50x1 (PV) L=51.1m (8.0m)	J: φ50x1 (PV) L=0.0m (0.0m)
R: φ50x2 (PV) L=49.2m (0.0m)	R: φ50x2 (PV) L=49.9m (0.0m)	R: φ50x2 (PV) L=51.1m (8.0m)	R: φ50x2 (PV) L=0.0m (0.0m)
L: φ50x1 (PV) L=49.2m (0.0m)	L: φ50x1 (PV) L=49.9m (0.0m)	L: φ50x1 (PV) L=51.1m (8.0m)	L: φ50x1 (PV) L=0.0m (0.0m)



参画企業 凡例

記号	名称	管径 (呼び径)	備考
E	関西電力	φ100	
E1	関西電力	φ75	保安通信線用
Ko	ケーブル・オプティコム	φ100	
T	西日本電信電話	φ150	フリーアクセス方式
J	ジェイコム関西	φ50	
R	道路管理者 (準備管)	φ50	
L	吹田市 (道路埋設)	φ50	

線形式 凡例

種類	記号	管径 (呼び径)	備考
① 関西電力	ES	φ100×1000	電力線1型埋設
② 関西電力	ES1	φ75×1000	電力線1型埋設
③ 関西電力	ES2	φ100×1000	電力線2型埋設
④ NTT-光回線	CS	φ100×1000	通信線埋設

西日本電信電話: 引込凡例

N T引込管の引込方向を示す。

特記事項

- 電力類管線 (赤)
- 通信類管線 (青)
- 埋設管線 (緑)
- 照明灯 (黄)
- 新設電柱 (赤)
- 既設電柱 (青)
- 撤去電柱 (黄)

点線表示は、別途工事

Y: L=30.8m (0.0m)	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=33.7m (0.0m)	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=27.7m (0.0m)	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=31.6m (0.0m)	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=25.4m (11.0m)	E:φ100x5 (SVP), φ75x1 (PV) L=0.0m (0.0m)
L: φ50x1 (PV) L=30.8m (0.0m)	Ko: φ100×1 (SVP) L=33.7m (0.0m)	Ko: φ100×1 (SVP) L=27.7m (0.0m)	Ko: φ100×1 (SVP) L=31.6m (0.0m)	Ko: φ100×1 (SVP) L=25.4m (11.0m)	Ko: φ100×1 (SVP) L=0.0m (0.0m)
T: φ150x1 (VP) L=59.3m (0.0m)	T: φ150x1 (VP) L=59.4m (3.0m)	T: φ150x1 (VP) L=59.4m (3.0m)	T: φ150x1 (VP) L=18.9m (4.0m)	T: φ150x1 (VP) L=18.9m (4.0m)	T: φ150x1 (VP) L=0.0m (0.0m)
J: φ50x1 (PV) L=59.3m (0.0m)	J: φ50x1 (PV) L=59.4m (3.0m)	J: φ50x1 (PV) L=59.4m (3.0m)	J: φ50x1 (PV) L=18.9m (4.0m)	J: φ50x1 (PV) L=18.9m (4.0m)	J: φ50x1 (PV) L=0.0m (0.0m)
R: φ50x2 (PV) L=59.3m (0.0m)	R: φ50x2 (PV) L=59.4m (3.0m)	R: φ50x2 (PV) L=59.4m (3.0m)	R: φ50x2 (PV) L=18.9m (4.0m)	R: φ50x2 (PV) L=18.9m (4.0m)	R: φ50x2 (PV) L=0.0m (0.0m)
L: φ50x1 (PV) L=59.3m (0.0m)	L: φ50x1 (PV) L=59.4m (3.0m)	L: φ50x1 (PV) L=59.4m (3.0m)	L: φ50x1 (PV) L=18.9m (4.0m)	L: φ50x1 (PV) L=18.9m (4.0m)	L: φ50x1 (PV) L=0.0m (0.0m)

※( )内は斜めから距離範囲までの長さ

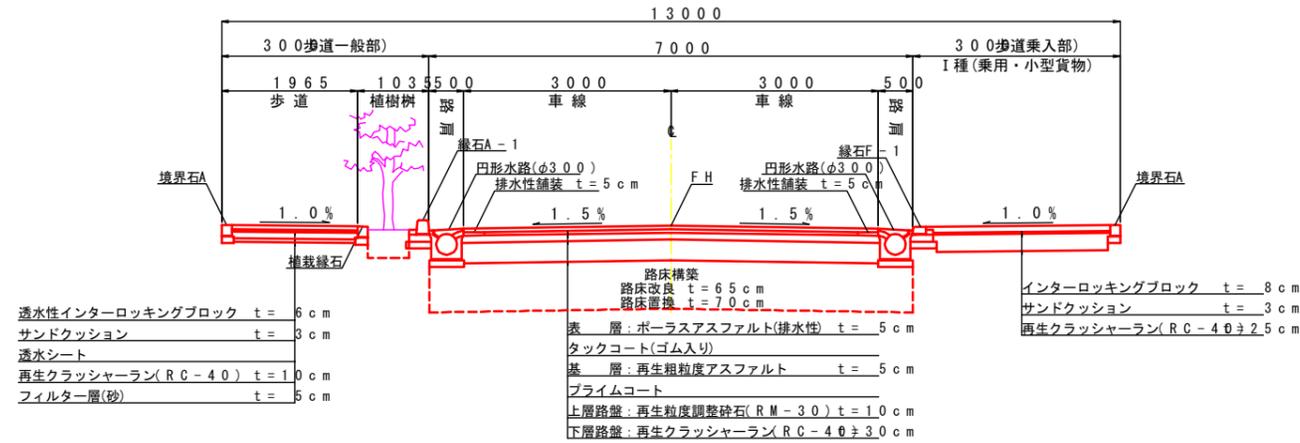
※(Om)内の値: 曲管長

(変更前)

工事名	天道岸部線電線共同溝整備工事 (その2)
路線名	都市計画道路天道岸部線
所在地名	吹田市岸部中一丁目地内
図面名	計画平面図 (2)
年月日	平成25年4月
縮尺	A1 1/250 図面番号 2/14
事業者名	吹田市 都市整備部 吹田操車場跡地まちづくり室

# 標準横断図

本線標準部  
(No付道) S=1:50

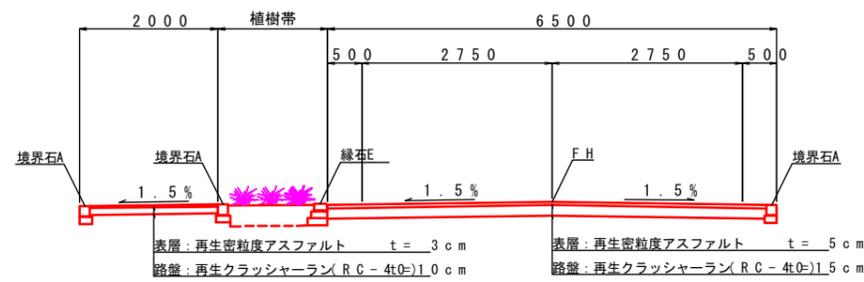


設計条件	
道路区分	第4種 第3級
設計速度	30km/h
道路計画幅員	13.0m
車線幅員	3.0m
歩道幅員	3.0m
路肩幅員	0.5m

設計期間 1年		
舗装計画交通量	N5:25以上10未満(台/日・方向)	
設計CBR	6%	
目標TA	21.00cm	
舗装構成	厚さ(cm)	等価換算係数 換算厚(cm)
表層	5	1.00 5.00
基層	5	1.00 5.00
上層路盤	10	0.35 3.50
下層路盤	30	0.25 7.50
合計	50	21.00

## 【別途工事】

支線部  
(亀岡街道) S=1:50



端部詳細図 S=1:20

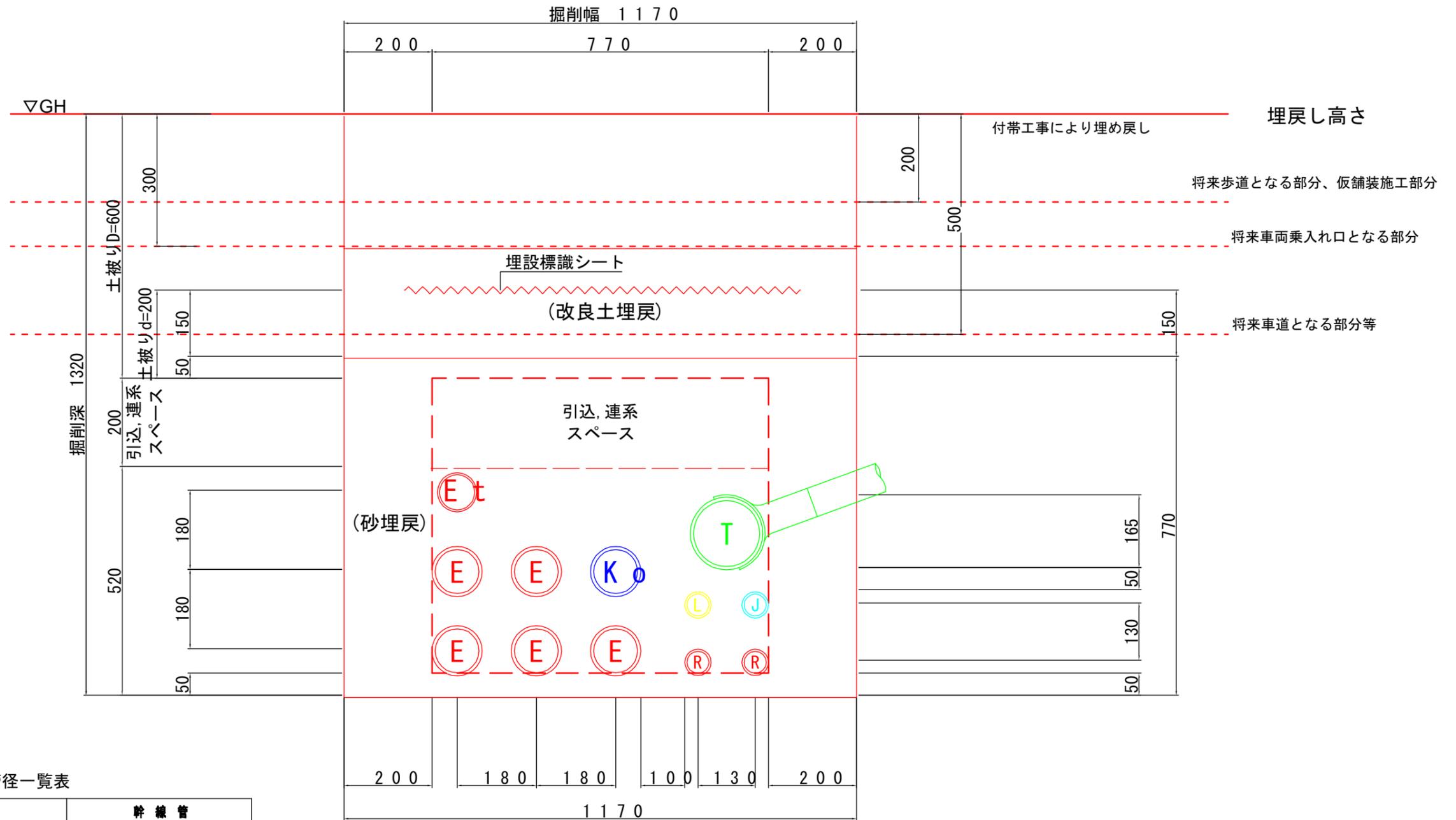


## (変更前)

工事名	天道岸部線道路築造工事(その2)		
路線名	都市計画道路天道岸部線		
所在地名	吹田市岸部中一丁目地内		
図面名	標準横断図		
年月日	平成25年6月1日		
縮尺	A1図示 A3図示/	図面番号	5
事業者名	吹田市 都市整備部 吹田操車場跡地まちづくり室		

# 標準断面図

S = 1 : 5



参画企業別管種・管径一覧表

電力系	企業名称	管種	幹線管	
			呼び径	外径
電力系	関西電力(株)	E	電力用管	φ100 φ114
	関西電力(株)保安通信用	Et	通信用管	φ75 φ96
	(株)ケイ・オプティコム	Ko	通信用管	φ100 φ114
通信系	西日本電信電話(株)	T	通信用管	φ150 φ165
	(株)ジェイコム関西J-COM	J	通信用管	φ50 φ60
	道路管理者(予備管)	R	通信用管	φ50 φ60
	吹田市(道路照明)	L	通信用管	φ50 φ60

工事名	天道岸部線電線共同溝整備工事(その2)		
路線名	都市計画道路天道岸部線		
所在地名	吹田市岸部中一丁目地内		
図面名	標準断面図		
年月日	平成25年4月		
縮尺	A1 1/5	図面番号	5 / 14
事業者名	吹田市 都市整備部 吹田操車場跡地まちづくり室		

## 【添付資料 20】石綿含有建設材料の使用状況資料

### 石綿含有建設材料の使用状況について

#### 1. 石綿含有成形材について

当時の竣工図書である公表資料「岸部中（南）西A棟建設工事資料」及び「岸部中（南）西B、C棟建設工事資料」の仕上表並びに各種図面を確認したところ、当該材料の使用の可能性は低いと認識している。

#### 2. 石綿含有吹付け材について

当該建物は、1968～1969年に建設されている。当時の外壁面の仕上げは、公表資料にあるように、モルタル刷毛引きのうえ、エマルリシン吹付け仕上げである。

直近では、平成5年（1993年）に外壁改修工事を実施しており、その改修方法は、「既設アクリルリシン吹付け部を高圧洗浄し、セメント系フィラーによる下地処理のうえ、アクリルリシンを吹付け」にて施工している。

アクリルリシンは、恒和化学工業株式会社（現：株式会社ダイフレックス）の製品「ダイヤEPリシン」を採用、セメント系フィラーについては、使用材料は不明である。

日本建築仕上材工業会が公表している「日本建築仕上材工業会会員会社が過去に販売した石綿含有仕上塗材の概要」によると、1970～2005年に販売された下地調整塗材C（セメント系フィラー）は、石綿を含有している可能性があるとして発表されており、当該建物外壁面についても、石綿が含まれている可能性がある。なお、アクリルリシンについては、過去の製品においても石綿の含有はないとの回答をメーカーから得ている。

よって、当該建物を解体する際には、関係省庁の最新の動向を踏まえ、適切にこれを処理するものとする。